

# ロベルト・ガブリエル・シル

## Roberto Gabriel Schill (ルーマニア)



### FCI オールグループ、オールブリード、BIS審査員

以前はミニチュアホワイトのプードルとミニチュアピンシャーをブリーディングし、多くのインターナショナルチャンピオンを排出していた。

審査員としてはFCIでは1998年から、また全犬種審査員としては2006年からヨーロッパ全域、またアジアでも審査している。

トイグループ犬種やノルディック犬種(ノルディックあるいはノーザンブリードのこと。北欧のスウェーデン、ノルウェー、デンマーク、フィンランド、アイスランドが原産のブリード)に関してはインドネシア、ドイツ、イタリア、フィンランド、ハンガリー、セルビア、ロシア、ルーマニアの多くのクラブショーで審査、また、シュナウザー、ピンシャーは多くのクラブショー、スペシャルティで審査している。

最近の大きなショーとしては2008年ブダペストでのヨーロピアンドッグショー、今年ミラノでのワールドドッグショーではグループ審査員としても招かれる。2000年からルーマニアトイドッグクラブ代表。ジョーカーハンガリアンプードルクラブの創設者の一人。何年にも渡りルーマニアノルディックブリードクラブの副代表を務め活動をする。職業は医師。

# ロジェ・バレン

## Roger Barenne(フランス)



**FCI5, 9グループ、2, 3, 6, 8, 10グループの中の多くの犬種、BIS審査員**

ジャーマンスピッツのブリーディングを経て1987年よりジャッジとしてのキャリアを始め1992年にはフランス・イタリアのジャーマンスピッツクラブの会長に選ばれ2007年まで務める。

2002年FCI9グループ審査員に任命され、2004年には5グループ、その後2, 3, 6, 10グループの多くの犬種の審査員となる。特に5・9グループにおいては審査員教育に携わる。

自国フランスはもとより海外での審査も多く、フランスケネルクラブのフレンチ・チャンピオンシップショーでは毎年審査員を務め、2012年全犬種審査員となる。  
フランス・プードルクラブ役員

---

# マヌエル・ローレイロ・ボルジス Manuel Loureiro Borges(ポルトガル)



**FCI オールグループ、オールブリード、BIS審査員**

リスボンに生まれる。生家は犬に携わる家庭で、父親は1960年後半からブリーダー、ハンドラーとしてショーで活躍していた。1970年代にはマヌエル自身がジュニアハンドラーとしてショーキャリアを始め、ポルトガルにおいて何度も入賞する。その当時同時にポルトギーズシープドッグを飼い始め“Do Magoito”の犬舎名でブリーディングを始める。その他ラブラドル、ビアーデットコリー、ウェルシュコーギーペンブロークのブリーディングをし、特に最後の2犬種に関してはポルトガルで初めてのブリーダーとなる。現在はウェルシュコーギーペンブロークとバセンジーを飼っている。

現ポルトガルケネルクラブ副理事長、ポルトガル・ブリティッシュシープドッグクラブ会長。

1987年から審査員となり、2010年全犬種審査員となる。FCIのワールド、ヨーロッパセクションのショーを含め、大きなウィナーショー、スペシャルティショー、チャンピオンオブチャンピオン(南ア、オーストリア、スペイン、ハンガリー、アイルランド)、など全世界中の多くの有名ドッグショーにジャッジとして招かれている。

# ジャンーフランソワ・バナカン Jean-François Vanaken (ベルギー)



**FCI 3, 9, 10グループ、イングリッシュブルドッグ、ブルマスティフ、BIS審査員**

8歳の頃からプードルを飼い始めブリーディングをする。また彼のケネル“スーパースーパー”は他にもマルチーズ、ベルジアングリフォン、ヨークシャーテリアをブリーディングし、特にプードル、マルチーズ、ヨーキーは有名。ヨーロッパでは彼の犬舎のプードルを知らない人はいないと言われ、実際に200回以上のワールドチャンピオンを獲得している。

ワールドドッグショー、ヨーロッパンドッグショーなどヨーロッパの数多くの主なドッグショーでジャッジとして活躍している。

---